加湿セラミックファンヒーター

取扱説明書 EFH-1215D

(イー エフ エイチ ディー)

＜保証書付＞裏表紙に付いています

もくじ

製品アンケートへのご協力をお願いします

PC http://www.dainichi-net.co.jp/hagaki/
携帯 http://www.dainichi-net.co.jp/mfh/

※ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のメールアドレスなどの入力が必要です。
通信料などはお客様のご負担となります。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

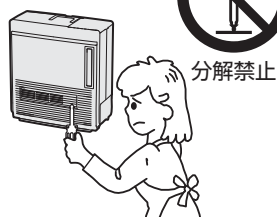
本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠ 警告(WARNING)

分解修理・改造の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。
また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。
感電や火災の原因になります。

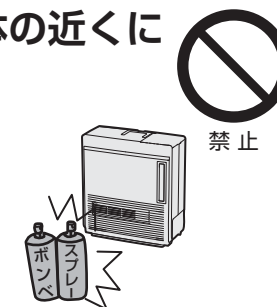
分解禁止

本体に指や異物を入れない

吹出口や吸気グリルに指や可燃物、針金などの異物を入れないでください。
けがややけどを負ったり、火災や感電の原因になります。

禁止

スプレー缶などを本体の近くに置かない

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。

禁止

交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く

水漏れ、焦げくさい臭いなど異常や故障と思われるときは、使用しないでください。
火災・感電・けがの原因になります。

プラグを抜く

幼児の手の届くところでは使用しない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しないでください。
やけど・けが・感電の原因になります。

禁止

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
特にお子様や、病気の方などがご使用のときは十分に注意してください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

禁止

衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

衣類乾燥厳禁

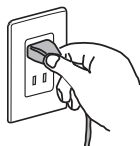
⚠警告(WARNING)

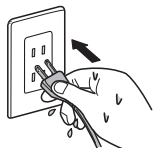
電源プラグは確実に差し込む

必ず行う

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
感電や発熱による火災の原因になります。

電源コードを傷めない

禁 止

電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。
また、束ねたまま使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電やけがの原因になります。

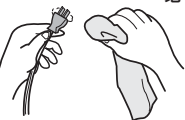
お手入れするときは電源プラグを抜く

プラグを抜く

お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因になります。

電源プラグのお手入れをする

必ず行う

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しない

禁 止

有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

運転停止直後(約1分間)はヒータ周辺に触れない

接触禁止

やけど・けが・感電の原因になります。

就寝中は使用しない

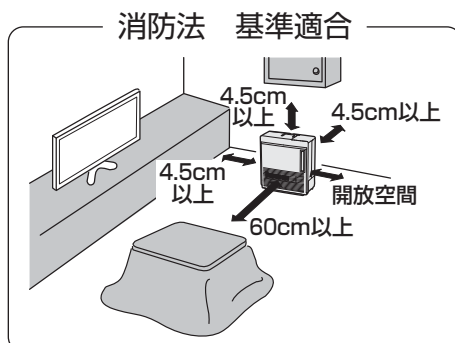
禁 止

寝るときや外出するときは、必ず運転を停止してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

⚠注意(CAUTION)

燃えやすい物の近くで使用しない

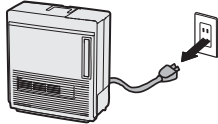
禁 止

カーテン、布団、毛布など燃えやすい物(可燃物)の近くでは使用しないでください。
火災の原因になります。
可燃物から下図の寸法を離して使用してください。ただし、左右面のどちらか一方は壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。

安全のために必ずお守りください

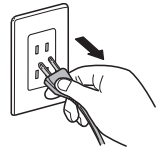
⚠注意(CAUTION)

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがややけど、絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
火災や感電の原因になります。

不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない

禁 止

水がこぼれ、火災や感電の原因になります。

高温部接触禁止

接触禁止

運転中や運転停止直後(約１分間)は吹出口に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

ほこりや金属粉の多い場所で使用しない

禁 止

火災や感電の原因になります。

吹出口や吸気グリルをふさがない

禁 止

火災の原因になります。

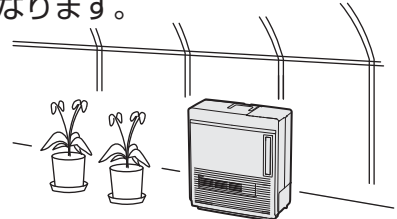
犬や猫などのペットの暖房用に使用しない

禁 止

ペットが本体や電源コードを傷めると、火災の原因になります。

乾燥など他の用途に使わない

禁 止

温室や飼育室など、人があたたまる目的以外で使用しないでください。
火災の原因になります。

水に浸けたり、水などをかけたりしない

水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。
水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。
水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

水道水(飲用)以外は使用しない

禁 止

40℃以上のお湯や化学薬品、芳香剤(アロマオイルなど)、汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用すると、雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。

注意(CAUTION)

浴室などの湿度が高い場所や水のかかる場所では使用しない

感電や火災の原因になります。

吸気グリル・除菌フィルターを外したまま使用しない

性能が発揮されず、故障の原因になります。

タンクを入れたまま移動しない

禁 止

移動するときは必ずタンクを取り出し、取っ手を持って、本体を傾けないように運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

タンクの水や本体内部は常に清潔にする

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。
お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。

お願い(NOTICE)

磁気の多いところには置かない

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところには置かないでください。
正常に作動しないときがあります。

直射日光のあたるところや、暖房機の上や近くには置かない

タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分が変形や変質するおそれがあります。

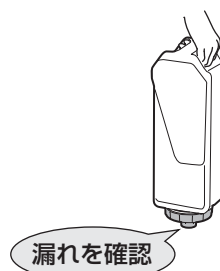
凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる

凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

使用しないときは水を捨てる

長期間使用しないときは、タンク・トレイ内の水を捨ててください。
水を入れたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖し、悪臭の原因になります。

トレイ内の水を飲まない・飲ませない

体調不良の原因になります。

水漏れ確認

タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。
水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

各部のなまえ

外観図

運転中高温になる部分（ご注意ください）

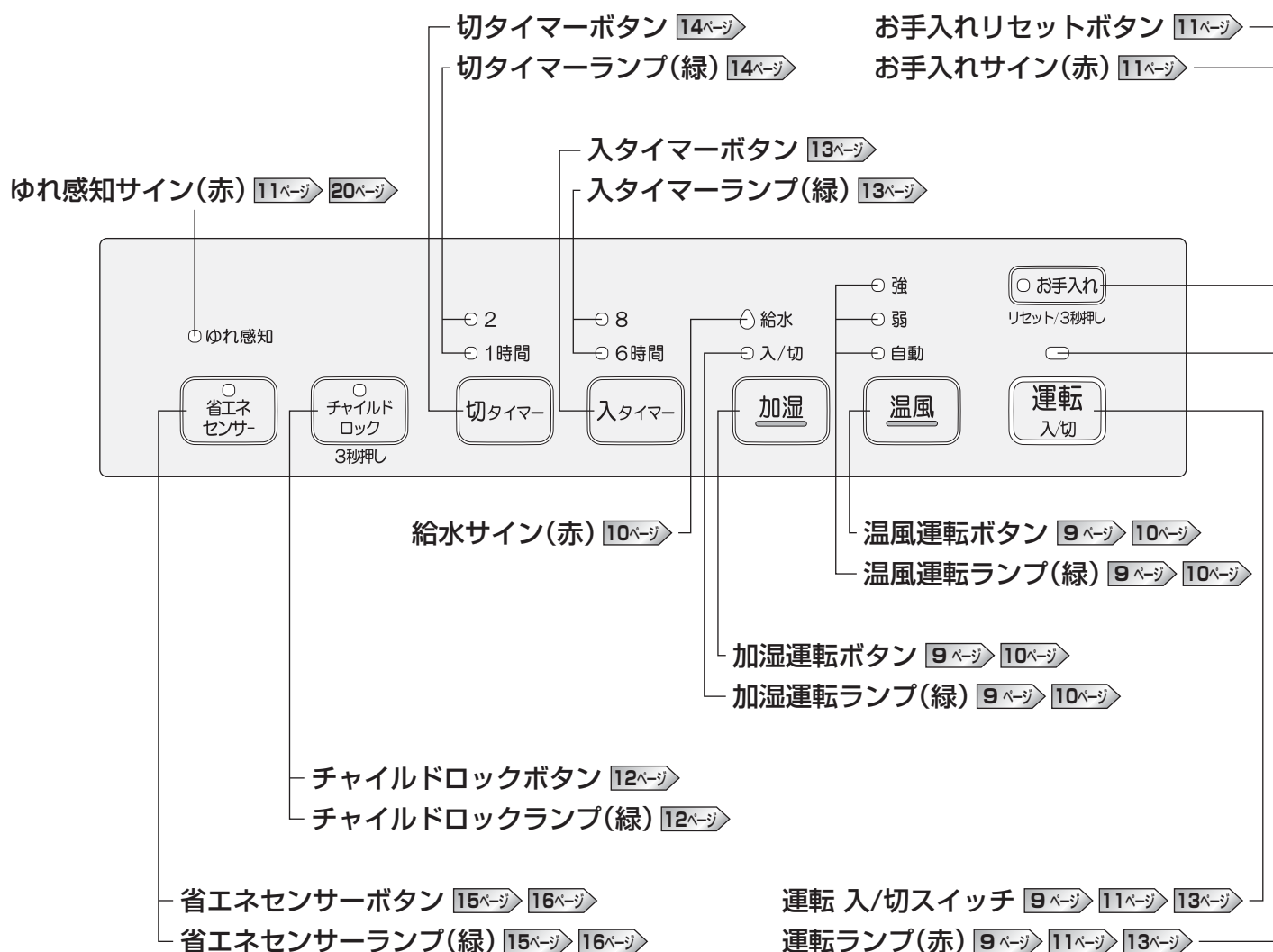
点検・手入れが必要な部分

操作・表示部

- 切タイマーボタン 14ページ
- 切タイマーランプ（緑） 14ページ
- お手入れリセットボタン 11ページ
- お手入れサイン（赤） 11ページ
- 入タイマーボタン 13ページ
- 入タイマーランプ（緑） 13ページ
- ゆれ感知サイン（赤） 11ページ 20ページ

ゆれ感知　2　1時間　8　6時間　給水　入/切　強　弱　自動　お手入れ　リセット/3秒押し

省エネ センサー　チャイルド ロック 3秒押し　切タイマー　入タイマー　加湿　温風　運転 入/切

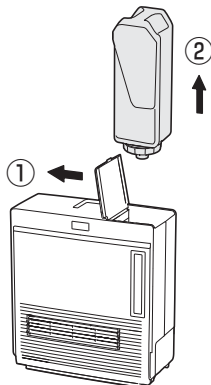
- 給水サイン（赤） 10ページ
- 温風運転ボタン 9ページ 10ページ
- 温風運転ランプ（緑） 9ページ 10ページ
- 加湿運転ボタン 9ページ 10ページ
- 加湿運転ランプ（緑） 9ページ 10ページ
- チャイルドロックボタン 12ページ
- チャイルドロックランプ（緑） 12ページ
- 省エネセンサーボタン 15ページ 16ページ
- 省エネセンサーランプ（緑） 15ページ 16ページ
- 運転 入/切スイッチ 9ページ 11ページ 13ページ
- 運転ランプ（赤） 9ページ 11ページ 13ページ

抗菌機能について

①抗菌気化フィルター：抗菌※1・防カビ※2加工を施し、トレイ内の雑菌・カビの繁殖を抑えます。
②除 菌 フ ィ ル タ ー：除菌※3加工を施し、部屋の空気から捕らえた雑菌の繁殖や活動を抑えます。

	※1	※2	※3
試験機関	一般財団法人　ボーケン品質評価機構		東亞合成株式会社 機能製品研究所
試験方法	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠	JIS L1902に準拠
抗菌・防カビの方法	フィルターに抗菌剤を含浸	フィルターに防カビ剤を含浸	フィルターに除菌剤を含浸
抗菌・防カビを行なっている対象部分の名称	抗菌気化フィルター		除菌フィルター
試験結果（試験番号）	99.9%の抑制を確認 (09006184-1) (09006184-2)	抑制を確認 (09006184-3)	99.9%の抑制を確認 (No.0406NI4-1)

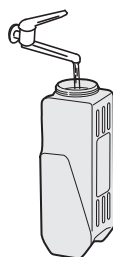
運転開始前の準備と確認

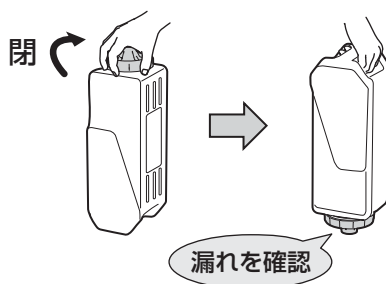
タンクに給水する

1 タンクカバーを開け、タンクを取り出す

2 タンクキャップを外す

○外したタンクキャップにごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。

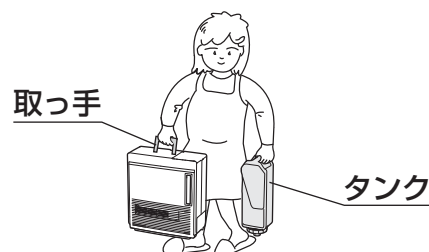
3 タンクを振り洗いしてから、水道水(飲用)を口元までゆっくり給水する

○水道水(飲用)は、一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいため、必ず水道水(飲用)を使用してください。

4 タンクキャップを確実に閉める

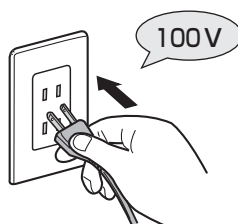
○タンクについた水は完全にふき取ってください。
○タンクキャップを下にして水漏れがないことを確認してください。
※漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

5 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める

○タンクを入れてからトレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに１～２分かかります。

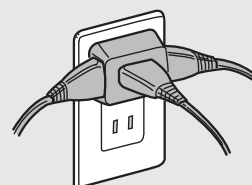
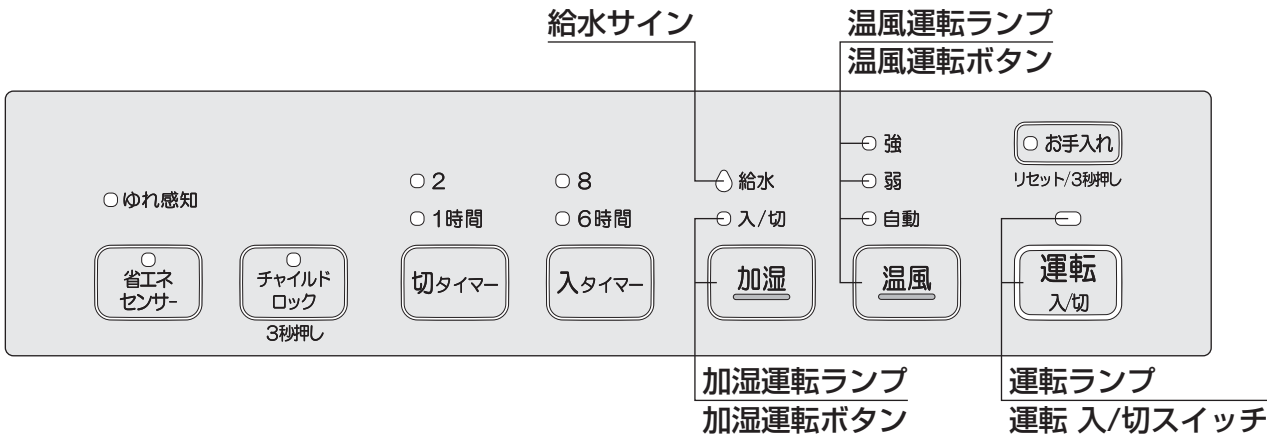
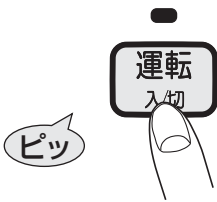
移動するとき

○必ずタンクを取り出し、取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

お守りください

○40℃以上のお湯や化学薬品、芳香剤（アロマオイルなど）、汚れた水などは使用しないでください。
変形や故障の原因になります。
○ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などは入れないでください。
雑菌やカビが繁殖しやすくなり、故障の原因になります。

電源プラグをコンセント（100V）に確実に差し込む

お守りください

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
○定格15A以上のコンセントを使用し、他の機器と併用しないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
○電源に発電機を使用するときは、家庭用電源（100V）と同レベルの電源供給ができる機器を使用してください（詳しくは、発電機メーカーに確認してください）。
機器が正常に作動せず、故障の原因となります。

禁 止

運転を開始するとき

1 運転 入/切スイッチを押す

○運転ランプ(赤)と温風運転ランプ(緑)が点灯します。
※切り忘れ防止のため、運転 入/切スイッチを押してから23時間が経過すると自動で運転を停止します。

メモ

○ご購入時や、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、温風運転「自動」モード設定になります。

2 お好みの運転モードを選ぶ

温風運転(単独)、加湿運転(単独)、温風加湿運転(温風運転+加湿運転)の3つから選ぶことができます。
一度設定すると、運転を停止しても前の設定を記憶しています。

運転モード ＼ 設定	温風運転	加湿運転	温風加湿運転	
温風運転ボタン 温風	お好みの運転モードに設定	「切」に設定	お好みの運転モードに設定	
加湿運転ボタン 加湿	「切」に設定	「入」に設定	「入」に設定	
加湿量の目安 (mL/h) 50/60 Hz	–	90/90	温風「自動」	90~480/90~480
			温風「弱」	220/220
			温風「強」	480/480

※加湿量は室温20℃、湿度30%の条件のときです。
※加湿量は室温や湿度により変わることがあります。

使用方法

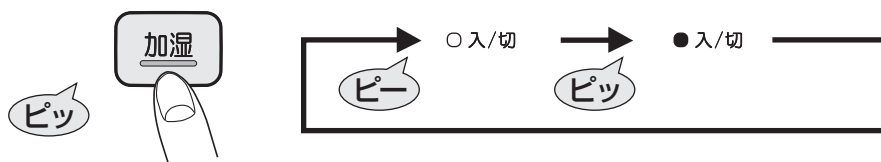
温風運転

温風運転ボタンを押し、運転モードを設定する

○**温風運転ボタン**を押すごとに運転モードが切り換わり、選んだ**温風運転ランプ（緑）**が点灯します。
※温風運転（単独）で使用するときは、タンクに給水しなくてもご使用できます。

運転モード	運転のしかた
「自動」	室温が約22℃になるように「強」、「弱」を自動で切り換えて運転します。 室温が上がり過ぎたときは、送風のみの運転に自動で切り換えます。
「弱」	「弱」の温風で連続運転します。
「強」	「強」の温風で連続運転します。
「切」（ランプ消灯）	温風運転を停止します（温風運転（単独）で使用しているときは設定できません）。

加湿運転

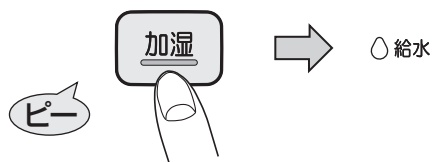
加湿運転ボタンを押す

○**加湿運転ランプ（緑）**が点灯し、加湿運転を開始します。
○**加湿運転ボタン**を押すごとに「入」、「切」が切り換わります。
※加湿運転（単独）で使用しているときに「切」を選択すると、温風運転「自動」モードに切り換わります。
※タンクに給水されていないときは、加湿運転を設定できません。

給水の合図

加湿運転（単独）、または温風加湿運転中にタンクの水がなくなると、**給水サイン（赤）**の点滅と10回のブザー音でお知らせし、加湿運転を停止します。

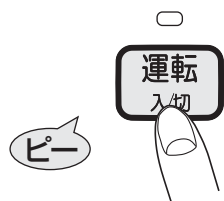
○温風加湿運転中にタンクの水がなくなると、温風運転（単独）に切り換わります。

解除のしかた

給水後、**加湿運転ボタン**を押す

○**給水サイン（赤）**が消灯します。
○加湿運転を開始するには、再度、**加湿運転ボタン**を押してください。

使用方法

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す

○運転ランプ(赤)と設定中のすべてのランプが消灯します。
○運転停止後、約１分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。

○運転の停止は、必ず運転 入/切スイッチで行なってください。
また、運転停止後約１分間は本体内を冷やすため送風ファンが回っているときがありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

メモ

○運転中に本体が大きく揺れたり、転倒したときは「ピピピピ」というブザー音が３回鳴り、運転を停止して、ゆれ感知サイン(赤)と運転ランプ(赤)が点滅します。

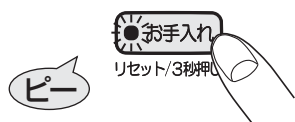
お手入れサインが点滅したとき

お手入れ時期の目安をお手入れサイン(赤)が点滅してお知らせします。

加湿運転をご使用の有無にかかわらず、タンクに水を入れてから約２週間後にお手入れサイン(赤)が点滅します。
運転を停止させ、お手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルター・トレイのお手入れをする

お手入れのしかたは、17ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

2 お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約３秒間押し、お手入れサイン(赤)を解除する

○お手入れサイン(赤)が消灯し、リセットされます。

使用方法

チャイルドロックを使用するとき

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。
運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロックボタンを「ピッ」と鳴るまで約３秒間押す

○ チャイルドロックランプ(緑)が点灯します。
○ 運転中のときは、運転停止以外の操作ができなくなります。
運転停止中のときは、チャイルドロックの解除以外の操作ができなくなります。

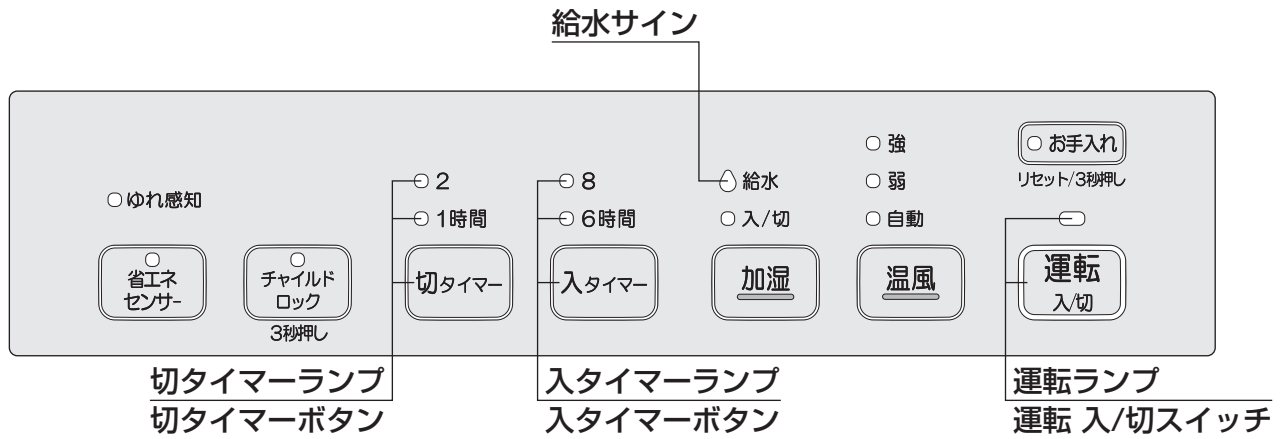
メモ

○ セットしたチャイルドロックは、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも記憶されています。再度、セットする必要はありません。

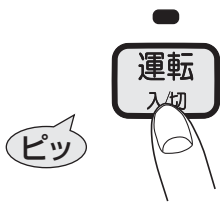
チャイルドロックを解除する

チャイルドロックボタンを「ピー」と鳴るまで約３秒間押す

○ チャイルドロックランプ(緑)が消灯します。

タイマー運転を使用するとき

入タイマー運転をセットする

一定時間後に運転を開始したいとき(6時間後、8時間後の設定ができます)

1 運転 入/切スイッチを押し、運転状態にする
(運転中にセットするときは、運転 入/切スイッチを押す必要はありません)

○運転ランプ(赤)が点灯します。

2 お好みの運転モードに設定する 9ページ

3 入タイマーボタンを押す

※入タイマー運転を解除した後に再度セットしたいときは、もう一度 1 から行なってください。

○入タイマーランプ(緑)が点灯し、運転を停止します。
○運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。

4 設定時間になると、自動的に運転を開始します
○入タイマー運転開始後、2時間で自動的に運転を停止し、入タイマーランプ(緑)が点滅します。
○運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。
○入タイマー運転中に運転モードなどの設定を変えると、入タイマー運転が解除され、継続運転になります。

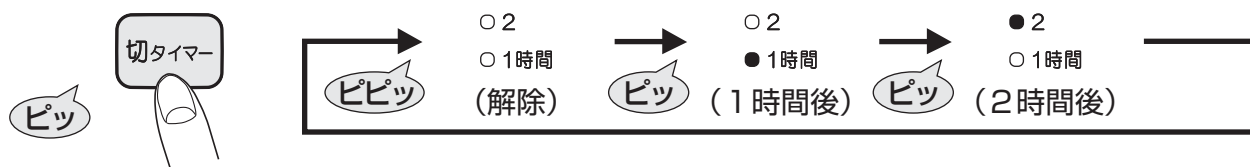
使用方法

メモ

○切タイマー運転中は、入タイマー運転をセットすることができません。
○入タイマー運転待機中にタイマー運転開始時間を変えたいときは、もう一度 1 からセットしてください。新たにセットしたときから入タイマーが作動します。
○加湿運転(単独)、または温風加湿運転で入タイマー運転をセットするときは、タンクの水量を確認してください。水量が少ないと運転開始後、途中で水がなくなり、給水サイン(赤)が点滅して加湿運転を停止します。
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき、本体を傾けたり転倒したことにより安全装置が作動したときは、もう一度 1 からセットしてください。

切タイマー運転をセットする

一定時間後に運転を停止したいとき(1時間後、2時間後の設定ができます)

1 運転中に切タイマーボタンを押す

○ボタンを押すごとに設定時間が切り換わり、選んだ**切タイマーランプ(緑)**が点灯します。

2 設定時間になると、自動的に運転を停止します

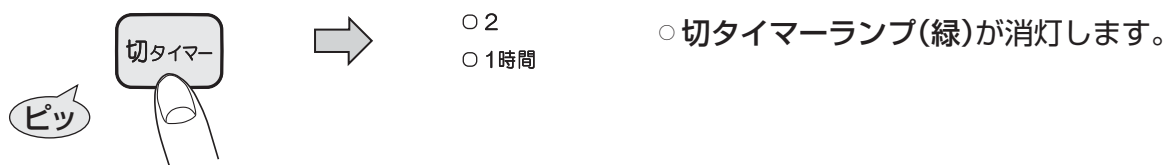
○運転ランプ(赤)と設定中のすべてのランプが消灯します。
○運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

○入タイマー運転待機中は、切タイマー運転をセットすることができません。
○切タイマー運転中にタイマー運転停止時間を変えたいときは、もう一度 1 からセットしてください。新たにセットしたときから切タイマーが作動します。
○加湿運転(単独)、または温風加湿運転で切タイマー運転をセットするときは、タンクの水量を確認してください。水量が少ないと、タイマーが切れる前に水がなくなり、給水サイン(赤)が点滅して加湿運転を停止します。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを解除になるまで押す

○切タイマーランプ(緑)が消灯します。

メモ

○切タイマー運転で停止したときは、切タイマーボタンを押しても運転は再開しません。再度、運転 入/切スイッチを押してください。

省エネセンサー運転を使用するとき

省エネセンサー運転をセットする

センサーにて人の存在(動き)を検知し、人がいないと判断したときは運転を自動で停止し、無駄な電力の消費を抑えます。

運転中に省エネセンサーボタンを押す

○省エネセンサーランプ(緑)が３秒間点灯します。

人がいるとき

○省エネセンサーランプ(緑)がゆっくり点滅します。

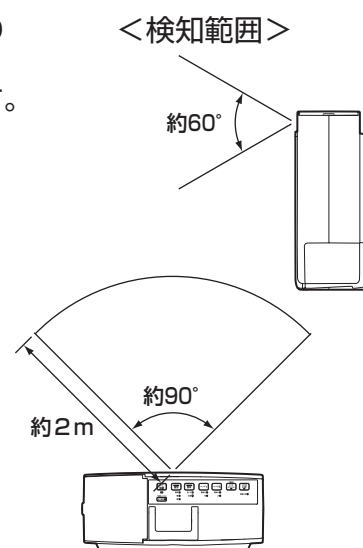
人がいない状態が続いたとき

○省エネセンサーランプ(緑)が点灯します。
○人の存在(動き)を約５分間検知しないと運転を停止します。
○人の存在(動き)を検知すると、運転を再開します。

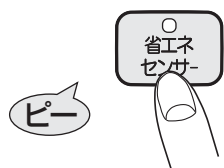
省エネセンサーの検知について

検知範囲は右図に示す通りです。ただし、季節や室内温度などの条件により変わることがあります。

○次のときには、センサーが人の存在(動き)として検知することがあります。
・犬や猫などの小動物が動いているとき
・温・冷風の流れがあるとき
・白熱灯などの発熱する機器を使用しているとき
・カーテンなどの風で揺れるものがあるとき
・携帯電話を使用しているとき

○次のときには、センサーが人の存在(動き)を検知しないことがあります。
・じっとしているなど、人の動きがほとんどないとき

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、省エネセンサー運転が解除されます。再度セットしてください。
○省エネセンサー運転中に人がいるときでも、切り忘れ防止のため、運転 入/切スイッチを押してから23時間が経過すると自動で運転を停止します。

省エネセンサー運転を解除する

運転中に省エネセンサーボタンを押す

○省エネセンサーランプ(緑)が消灯します。

日常の点検・お手入れのしかた

○点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。
感電・発火・故障の原因になります。
○お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。

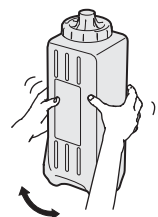
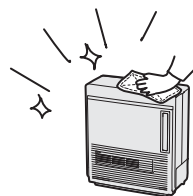
ご使用のたびに

本体の周辺に可燃物はないか確認する

本体のほこりや汚れをふき取る

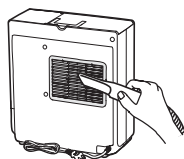
○柔らかい布でからぶきするか、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
○変質や変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

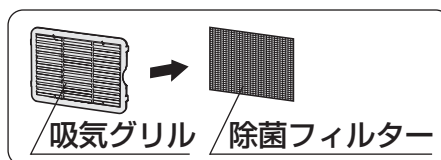
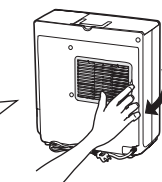
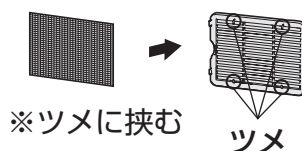
タンク内をきれいにする

○タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
タンクの水を捨て、きれいな水を少し入れて振り洗いしてください。

日常の点検・お手入れのしかた

週に1回程度

吸気グリルのお手入れをする

掃除機などで吸気グリルのほこりを取る。

吸気グリルの汚れがひどいとき

1. 本体から吸気グリルを取り外し、除菌フィルターを取り外す。

2. 掃除機などで吸気グリル、除菌フィルターのほこりを取る。

3. 吸気グリルに除菌フィルターを取り付ける。
※吸気グリル裏側のツメ（4箇所）に挟むように取り付ける。

4. 吸気グリルを本体に取り付ける。

お手入れサインが点滅したとき

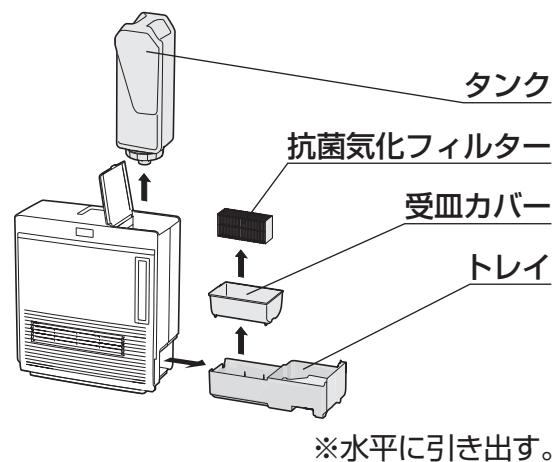
抗菌気化フィルター・トレイ・受皿カバーのお手入れをする

抗菌気化フィルターやトレイ、受皿カバーに水アカ（白や茶色）が付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、必ずお手入れしてください。

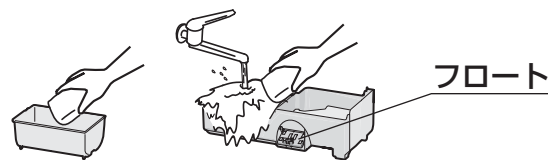
1 タンクカバーを開け、タンクを取り出す

2 トレイを本体から引き出す
○抗菌気化フィルター、受皿カバーは、トレイから外れやすいのでご注意ください。

3 トレイから抗菌気化フィルターを取り出し、お手入れする
○洗浄のしかたは、18ページ「抗菌気化フィルターの洗浄のしかた」に従ってください。
○抗菌気化フィルターに強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

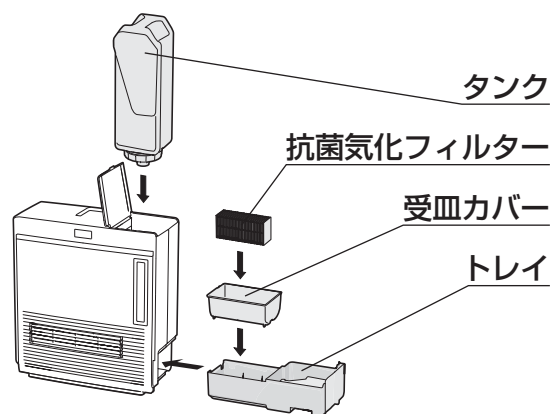
※水平に引き出す。

4 トレイから受皿カバーを取り出し、トレイの水を捨て、トレイと受皿カバーをスポンジなどで水洗いする

※フロートは外さないでください。

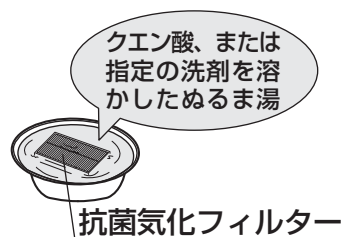
点検・その他

5 受皿カバーと抗菌気化フィルターをトレイにセットする

6 トレイを本体にセットする

※トレイは奥まで確実に入れてください。

7 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める

8 お手入れサイン(赤)を解除する 11ページ

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

1. ぬるま湯にクエン酸、または指定の洗剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。
(クエン酸と指定の洗剤を一緒に入れないでください)
40℃以上のお湯は使用しないでください。部品破損の原因になります。

洗 浄 剤	使 用 量	浸け置き時間
クエン酸	1.5Lあたり約10g(大さじ1杯)※1	約30分～2時間 ※2
当社指定の洗剤(粉末)※3「花王：ワイドマジックリン」	1.5Lあたり約13.5g(大さじ1杯半)	約60分

※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。
※2 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く(最長2時間)してください。
※3「ワイドマジックリン」は、花王株式会社の登録商標です。

2. 新しい水でしっかりすすぎ洗いする。

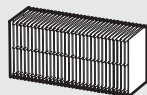
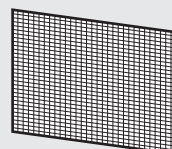
※クエン酸や洗剤の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

※詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。22ページ

メモ

○抗菌気化フィルターはクエン酸洗浄しないで使用を続けると寿命が1シーズンと短くなります。
(1シーズン6カ月、1日8時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均値)の場合) 21ページ
○使い始めてすぐに抗菌気化フィルターが茶色に変色(場合によっては数時間で変色)することがありますが、異常ではありません。
○クエン酸は薬局、薬店、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。21ページ
○クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型式の呼び・部品名をはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。22ページ

この部品は本加湿セラミックファンヒーター用です。他の機器では使用しないでください。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

1 「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。お手入れ終了後、電源プラグをコンセントに差し込み、お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、リセットしてください。11ページ

2 抗菌気化フィルターなどお手入れした部品を十分に乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。
また、本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従って廃棄してください。

消耗部品の材質
- ○抗菌気化フィルター･･･レーヨン・プラスチック(ポリエステル)
- ○除菌フィルター･･････プラスチック(PP)

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症　状	原　因	処 置 方 法
給水サイン(赤)が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水する。 7ページ 10ページ
タンクに水が入っているのに**給水サイン(赤)**が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除く。 17ページ
	加湿運転ボタンを押し直していない。	**加湿運転ボタン**を押し直す。 10ページ
運転ランプ(赤)と**加湿運転ランプ(緑)**が点滅している	トレイが確実に本体に入っていない。	トレイを確実に本体に入れる。 18ページ
	受皿カバーがセットされていない。	受皿カバーをセットする。 18ページ
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 12ページ
温風運転中なのに温風が出ない	温風運転「自動」モードに設定している場合、室内温度が上がり過ぎると送風のみの運転になります。	異常ではありません。 10ページ
加湿運転しているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをする。 17ページ
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをする。 17ページ 18ページ
加湿運転ができない	**給水サイン(赤)**が点滅している。	タンクに給水する。 7ページ 10ページ
タイマー運転(加湿運転)ができない		
音がする	「ボコボコ」という音は、タンクからトレイに水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。
	「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル・抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。 17ページ 18ページ
臭いが出る	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイ・受皿カバーが汚れている。	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイ・受皿カバーのお手入れをする。 17ページ 18ページ
電源プラグをコンセントに差し込んだとき、送風ファンが回る	前回ご使用のときに、電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグをコンセントから抜いた。	異常ではありません。運転停止後は送風ファンが止まってから電源プラグを抜いてください。故障の原因になります。 11ページ
抗菌気化フィルターが茶色に変色している。	水アカが付着している。	異常ではありません。汚れがひどいときは、お手入れをしてください。 18ページ

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処 置 方 法
運転ランプ(赤)と、**ゆれ感知サイン(赤)**が点滅している	○本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。 ○地震(約震度５以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動停止した。 **(対震自動停止装置が作動)**	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
運転ランプ(赤)と、**入タイマーランプ(緑)**が点滅している	室内温度が異常に高温(40℃以上)になったため、自動停止した。 **(室温異常自動停止装置が作動)**	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
運転ランプ(赤)と、上記以外のランプが点滅している	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ

処置を行なっても直らないときは、故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗部品の交換について

交換の目安

○ 抗菌気化フィルターは、３シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(１シーズン6カ月、１日８時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に１回クエン酸洗浄した場合)。クエン酸洗浄なしでは１シーズンです。19ページ
なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。
また、３シーズン以内でも汚れや水アカが落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。
交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

○ 除菌フィルターは、汚れが落ちにくくなったら交換をおすすめします。
交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼(有料)をおすすめします。

愛情点検　**長年ご使用の加湿セラミックファンヒーターの点検を！**

こんな症状はありませんか	
	・水漏れする。 ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。 ・電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。 ・運転中に異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。

▶

ご使用中止	
	事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

型名	EFH-1215D				
電源電圧及び周波数	AC100 V　50/60 Hz				
消費電力	温風運転		加湿運転		
	温風「強」	温風「弱」	温風「強」＋加湿	温風「弱」＋加湿	加湿単独
	1200/1200 W	670/670 W	1000/1000 W	550/550 W	12/12 W
加湿量※1	ー	ー	480 mL/h	220 mL/h	90 mL/h
運転音	32 dB	30 dB	29 dB	25 dB	29 dB
連続加湿時間	約8 時間				
タンク容量	3.8 L				
外形寸法(高さ×幅×奥行)	410 mm×375 mm×180 mm				
質量	約4.9 kg				
電源コードの長さ	1.8 m				
安全装置	対震自動停止装置、室温異常自動停止装置				

◆加湿の目安※1

運転	プレハブ洋室	木造和室
温風「強」＋加湿	22 m²(13.5 畳)まで	13 m²(8 畳)まで

※１：加湿量は室温20℃、湿度30%の条件のときです。

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター・除菌フィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。
他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本加湿セラミックファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。20ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　　　名：ダイニチ加湿セラミックファンヒーター
型式の呼び：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

○修理などで加湿セラミックファンヒーターを運搬するときは、必ずタンク・トレイ内の水を捨ててください。運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)

TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220

<受付時間>
11月～ 1月　9:00～19:00
　(土は～17:00、日・祝日・年末年始は休み)
2月～10月　9:00～12:00、13:00～17:00
　(土・日・祝日は休み)

※型式の呼び(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

点検・その他

保証とアフターサービス

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①修理やその確認業務を委託する場合
   ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

加湿セラミックファンヒーター保証書

型名	EFH-1215D	製造番号	
お客様	お名前　　　　様 ご住所　〒 電話番号　(　　)　　－		
お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号		
年　月　日			
保証期間(お買い上げ日から)			
本体3年間			

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

(お客様へお願い)
お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

(ご販売店様へ)
お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し(記入のないときは無効になります)、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉
1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なったときは、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社へご相談ください。
5. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク・タンクキャップの損傷。使用状況などによる本体やタンクの変形、変色。
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障や損傷
   (ニ) 異常電圧、指定外の電源(電圧・周波数)、ほこりなどによる故障や損傷
   (ホ) 消耗部品(抗菌気化フィルター・除菌フィルター)の取り替え
   (ヘ) 定期点検の費用
   (ト) 一般家庭用以外(たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障や損傷
   (チ) 本書の提示がないとき
   (リ) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書(22ページ)をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110
ホームページ http://www.dainichi-net.co.jp/

EFH-1215D・07・00,000・1